

日中の相互理解をより深めるため

## 第二回・「中国人の日本語作文コンクール」

【応募資格＝中国で日本語を学ぶ大学生、院生】

最優秀賞受賞者に「日本・一週間招待」

**【テーマ】** 「日本語と私」、「日中友好を深めるにはどうしたらいいか」(自由の一つを選択)

日本語学習、日本文化・日本人との接触、日々の勉強と生活などを通して、「日中友好」を深めるためのいろいろな提案を書いて頂く。日本政府や日本人、日本企業に、「言いたいこと」や、「好きなところ・嫌いなところ」など。中国と中国人の立場や生活などについて「知ってもらいたいこと」、など。

**【体裁・字数】** 手書き・1600字前後。**大学名・学年を明記してください。**

**【締め切り日】** 2006年6月30日(金)必着(連絡先にメールアドレスは必ず記入)

**【作文の送り先】** 東京都豊島区西池袋3-17-15 日本僑報社内 日中交流研究所  
TEL 03-5956-2808 FAX 03-5956-2809 <http://duan.jp> [duan@duan.jp](mailto:duan@duan.jp)

**【審査方法】** 日本語の語彙・文章＝50点、内容＝50点を基準に日本側の審査員が審査し、順位を決定します。第二次審査員は2月16日現在以下の6名です。  
五十嵐 貞一(中国留学生交流支援立志会理事長)  
川村 恒明(神奈川県立外語短期大学長)  
木下 俊彦(早稲田大学教授)  
関 史江(東京大学工学系助手)  
高見澤 孟(昭和女子大学大学院教授)  
谷川 栄子(日本大学国際関係学部非常勤講師)

入賞作品は日中対訳版の『日中友好への提言2006』(仮題)に収録し、日中両国で配布します。なお、受賞作品の著作権は主催者にあることをご了承下さい。応募作品は返却致しません。なお、受賞作品及び佳作(二等賞)以上の受賞者の顔写真は書籍に掲載しますので、作文と顔写真の電子データをメールで送る必要があります。

### 【賞】

最優秀賞	1人	賞状+「日本・一週間招待」
優秀賞(一等賞)	3人	賞状+5万円相当の賞品(電子手帳+書籍など)
佳作(二等賞)	10人	賞状+1万円相当の賞品
入選(三等賞)	50人	賞状+3千円相当の賞品

### 【表彰式】

12月頃、中国国内で行います。佳作(二等賞)以上の受賞者を招待します。

**【主催】** 日中交流研究所 所長・段躍中(日本僑報社編集長)

**【後援】** (2005年後援実績、2006年後援申請中) 在中国日本国大使館、(社)日中友好協会、日中文化交流協会、日中友好議員連盟、(社)日中協会、(財)日中友好会館、日本国際貿易促進協会、(財)日中経済協会、人民網

**【協力】** (2005年協力実績、2006年協力申請中) 国際交流基金、中国日語教学研究会、北京日本学研究中心、中国留学生交流支援立志会、日本僑報社 (2006.2.16現在)